

科目名		小児看護学特殊研究			専門科目 (小児看護学)	選択必修	10単位
担当教員		◎教授 石舘美弥子 准教授 三木祐子					
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要		小児看護学の発展に寄与する研究課題に取り組み、学術的意義が高く独自性のある博士論文を作成する。一連の研究プロセスを通して、自律した研究者としての研究遂行能力を修得する。					
授業の到達目標		1. 自己の研究テーマを明確化できる。 2. 研究疑問、目的、あるいは仮説について説明できる。 3. 対象者への倫理的配慮に基づき、適切な手続きに沿ってデータ収集ができる。 4. 収集したデータを適切な研究手法を用いて分析できる。 5. 博士論文を執筆し成果を公表できる。					
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	【行動目標】 研究テーマに従い、研究計画を進め、論文を作成する過程を通して自律した研究者としての研究遂行能力を修得する。 ・研究テーマの明確化 ・国内外の文献レビュー ・適切な研究方法の検討 ・研究計画書の作成 ・倫理審査申請書類の作成 ・データ収集と分析 ・結果に基づいた考察 ・中間報告 ・論文作成と公表 【研究テーマ】 (石舘美弥子) ・子どもの受診行動を支援するオノマトペの研究 ・プレパレーションに関する研究 ・子どもの事故予防に関する研究 (三木祐子) ・母子保健学に関する研究(主に親子の健康と環境に関する研究) ・発達障害の子どもに関する研究						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		【事前学修】	研究プロセスにおける自己の課題について事前準備を十分に行う。				
		【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておく。				
		【必要時間】	当該期間に150時間以上の予習・復習が必要である。				
教科書		特に定めない。					
参考書		特に定めない。					
成績評価の方法および基準		研究計画書 30%、中間発表20%、口頭試問 50%					
その他履修上の注意事項		履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 課題およびレポートなどに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。					